

## 【22\_149技術系メルマガ】ストップを小さくしたければ『パターンの分解』を観よう

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今週から徐々に平常モードに戻していくつもりですので、改めてよろしくお願いします(笑)

さて、今回のテーマですが

待ち伏せるポイントは型で明確に出来るようになったけど、それでも最後

「いざエントリー」の場面で迷ってしまうとお悩みの人にはひとつヒントになるかもしれない話になります。

□  
■ プルバック終了予定位置からの『パターン』に注目する  
└──────────────────┘

たとえば、僕のように水平線とMAを軸にして押し目と戻りを探す場合

重要になるのは『目線』と『どこまでプルバックするか』を自分の基準で決めて待つ事です。

次にポイントとなってくるのは、自分が仕掛けようと思っているポイントに対して

『適正なリスクを取れる場所でエントリーする』ということです。

取り組み初めの方向けには、損切ラインを決めやすいように

『3波の中の“第1波起点”』で損切りを決めるように規定する事をおススメしていますが

▼参考:3波r理論による損切りを決める目安▼

[https://kuro-gaki.com/muhai\\_saisoku/others/2022-03-03\\_002.png](https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2022-03-03_002.png)

この場合、1波が大きくなると、プルバックの終わり位置から損切りも深くなります。

その場合、僕はもうひと手間を加えて『パターンの分解』を行います。

▼パターンの分解による損切幅の圧縮▼

[https://kuro-gaki.com/muhai\\_saisoku/others/2022-03-03\\_003.png](https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2022-03-03_003.png)

これは、サロンや無敗最速講座では色々過去の実事例を交えて説明をしているので知っている人は知ってる話なのですが(笑)

慣れて徐々にチャンスの手数を増やしながらか試行数を増やしていきたい人は

このポイントを意識して自分の認識しやすいチャンスを探すようにしてみてください。

オマケで、1つ最近のチャートで個人的にパターンの分解もきれいに出来るいい場所を紹介します。

▼GBPJPYチャート▼

[https://kuro-gaki.com/muhai\\_saisoku/others/2022-05-29.png](https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2022-05-29.png)

この『パターン分解』の難しい所は、「どんな形だったらパターンと認識できるのか」がその人の主観によって変わってくるということです。

例えば今回僕が例示したチャートでは、WTop(ダブルトップ)を大小複合的に認識しましたが僕以外の方が同じチャートを見ても、それが「パターンには見えない」という場合もあり得ます。

重要なのは「目に見えるパターンの形」ではなく、この場所でその『形(に見えるもの)が作られた』背景であるという事です。

これは、言葉にして表現するとかかなり抽象的な言い方になってしまうのですが

自分が認識する『パターン』と『(反転、ブレイクなどの)値動きの背景』を関連付けて考えることによって

パターン認識によるエントリーの優位性も大きく向上します。

今後も可能な範囲で、僕自身がやったトレードの事例も共有しながら検証データを提供していきたいと思っているので

是非有効に活用してもらえたらと思います。